



山王台だより10月号

令和8年9月30日
横浜市立山王台小学校
〒235-0016
横浜市磯子区磯子5丁目2-1
TEL 045 (755) 1107

【学校教育目標】 認め合い 学び合い 高め合う子

実りの秋、成長の秋

校長 石原 加代子

時折吹く爽やかな風に秋の気配を感じ、「海からの風はさわやかに吹き♪」と、校歌を思わず口ずさんでいます。皆様は、秋といえば何を思い浮かべますか。

まずは、スポーツの秋です。外遊びが好きな子どもたちが多く、休み時間になると学年を超えて鬼ごっこやドッジボールなどを楽しんでいます。体を動かすことは、体力向上にもつながっています。休み時間は、児童委員会の常時活動の時間でもあります。一生懸命に活動する高学年を、とても頼もしく感じています。ボールの返却が遅れることが課題となっていました。そこで運動委員会の子どもたちは解決策を考え、終了時刻に鐘を鳴らす取組を始めました。遊んでいる子どもたちは、鐘の合図でボール遊びを終え、返却します。いずれは、自ら時計を見て行動し、自律的に過ごせるようになってほしいと願っています。

次に、読書の秋です。学校図書館で本を読むことを楽しみにしている子どもたちもたくさんいます。一人で黙々と読書に親しむ姿、畳のスペースで友達と一緒に本を読む姿などが見られ、子どもたちにとって大切な居場所の一つになっています。読書月間では図書委員会主催の読書集会や読書の本棚に取り組みます。電子書籍も日々活用しています。

そして、食欲の秋です。栄養バランスの整った給食は、子どもたちの健やかな成長に欠かせません。4時間目終了後から給食開始までの時間を5分延ばしたことで、落ち着いて準備を行い、ゆとりをもって食事ができるようになりました。食育の推進や残菜の減量化にもつながることを期待しています。給食委員会では、給食ビンゴを企画し、食への意識を高めています。「食べてみよう」という気持ちを育んでいきたいと考えています。

さらに、芸術の秋です。3年生は区音楽会に向けて自主的にリコーダーを練習する輪が広がっています。10月6日には全校児童が韓国の国立国楽高等学校「ソリノリ芸術団」による芸術鑑賞をします。また、15日には5年生が心の教育ふれあいコンサートに参加し、11月には1～4年生がエバリーによる芸術鑑賞をします。芸術に触れる豊かな体験を通して、感性や表現力・豊かな心を育んでいきたいと思ひます。

さて、間もなく前期が終了します。「なりたい自分」にどれだけ近づくことができたのかを振り返り、これから「何を」「どのように」取り組むのかを考えて学校生活を送ってほしいと思ひます。私たち教職員は、子どもたちに着実に資質・能力を身に付けさせたいという強い思いがあります。今後も、学びの積み重ねを大切に、子どもたちの姿を丁寧に見取りながら授業づくりや支援を振り返り、実りある成長が見られるよう努めてまいります。引き続き、地域の皆様・保護者の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。